

1 「本質的な問い」による単元（題材）構想について

○ 探究的な学習過程及び他者と協働して主体的に取り組む学習活動になるよう単元を構成したことで、設定した本質的な問い「地域とどのようにつながり、どのように生きるのか」に迫ることができた。本校は、令和5年4月に義務教育学校「天応学園」として開校する。新たに建設された体育館棟や自分たちが天応小最後の卒業生であることに焦点を当てたことで、児童は問いを自分事として捉え、防災のための安全な町づくりとその取組について探究的な見方・考え方を働かせながら深く考える学習展開を行うことができた。

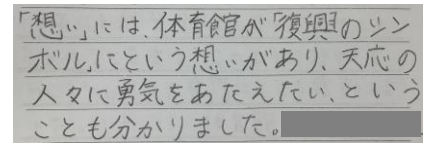


写真と児童の記述による探究の過程の教室掲示

2 単元（題材）で育成を目指す資質・能力について

【知識・技能】

○ 天応地区自治会連合会の友井会長様や呉市教育委員会の森川副部長様をはじめ、多くの方から話を聞く場を設定することができた。また、調べたことをまとめて地域の方に表現したり（ポスター、リーフレット、回覧板、動画等）、学校に来られたお客様に紹介したりすることができた。これらの活動により、防災や町づくりには多くの人の思いが込められていることを理解することができた。



森川副部長さんへのお礼状より

【思考・判断・表現】

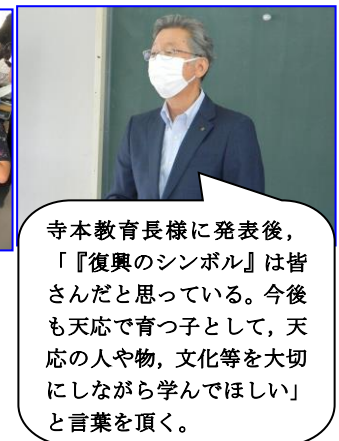
○ 収集した情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら、解決に向けて考えることができるよう、思考ツールを用いたり学習形態を工夫したりした。このことにより、発信する内容と方法の関連を明確にすることができ、相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、表現することができた。



授業風景

（左図）振り返りの記述より

ワールドカフェ方式でお互いのグループの改善点について話し合った。先にクラゲチャートで入れ込む情報を共有していたので、アドバイスのポイントを整理して話すことができた。でも、内容より方法についての話が多くなったから、次のワールドカフェの時には内容の改善点についてもっと話せるよう工夫したい。



寺本教育長様に発表後、「『復興のシンボル』は皆さんだと思っている。今後も天応で育つ子として、天応の人や物、文化等を大切にしながら学んでほしい」と言葉を頂く。

【主体的に学習に取り組む態度】

○ 単元全体を通して他者と協働して主体的に取り組む場を充実させるとともに、全員が役割意識をもって取り組めるよう学習形態を工夫したことから、全員が自分事として探究的な学習に取り組むことができた。

今日気をつけたことは沢山あります。まずタブレットはかりを見ないことです。しっかりお客様の様子を確認しながら話すことができました。また、分かりやすいように指し示したり、豆知識や工夫などについても詳しく説明することができました。その場にあった対応もしっかりこなすことができました。その結果、●●さんにもこの新体育館、フロア、特別教室の魅力や機能をしっかり知っていただき、褒めていただけることができました。褒めていただけたときは「ありがとうございます」しか言うことができなかつたけどとても嬉しかったです。今回は大成功だったと思います。

今日は、新体育館の設備や機能について案内しました。これまで学習してきたので短時間で原稿を作ることができました。お客様に失礼のないようご案内出来たと思います。手てこちらへどうぞと示したり、部屋に入る時ドアが閉まらないようにおさえたり、行動にも気をつけました。質問をされた時もあいづちを打ちながら答えるなど反応の仕方にも気をつけました。体育館に込められたおもいや魅力だけでなく天応学園になることもご案内できたことが嬉しかったです。

事務長会での体育館棟案内後の振り返りの記述より

3 「デジタル機器」の活用

○ ロイロノートの「共有ノート」機能を振り返りに活用した。視点（資質・能力）によってカードの色を変えたり、他の児童がどのように考えたかを共有したりすることで、児童の思考や表現の質の向上につなげることができた。また、表現方法として、「iMovie」を活用して動画を作成した。このことにより、修学旅行のまとめの学習に「iMovie」を用いて振り返りムービーを作成するなど、他教科等の学習に広げることができた。



振り返り共有ノート



子供向け動画



大人向け動画